

上五島はヤブツバキの島

～第28全国椿サミット上五島大会参加記～

龍ヶ崎市 小泉不二男

今年の全国椿サミットは長崎県五島列島の中通島の新上五島町で行われた。第28回目を数える。期間は平成30年3月3日(土)と4日(日)の二日間。主会場は新上五島町石油備蓄記念会館、交流会は有川総合体育館で開かれました。茨城つばきの会からは参加4名でした。

《1日目 3月2日(金)》

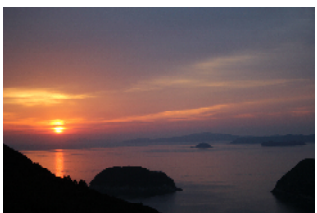
午前10時羽田空港発、12時5分長崎空港着。空港ターミナルの長崎チャンポンで腹ごしらえした後、バス40分ほどで長崎市内へ。五島列島への高速フェリーまで時間があり、せっかくなので長崎市内観光に出る。



グラバー邸。幕末明治の貿易商人の居宅もあり見所多し。入江になった長崎港を一望する絶好の立地



16:40 長崎港発高速フェリー  
18:23 新上五島町有川港着  
東シナ海、波静か。  
全国から愛好家 250名参加



(左) ホテルマルゲリータに連泊。前後とも海。

(右) 五島の夕陽(部屋からの眺望) 夕陽の名所。静かな海に太陽がゆっくり沈む。

《2日目(大会1日目): 3月3日(土)》

町職員の方の送迎で宿泊のホテルから大会会場の青方港近くの石油備蓄記念会館到着。会場内を一回りして、午前11時から隣接の温水プール会議室で開かれた支部懇談会に参加。2020年の国際椿五島大会のことなどが話題となる。

お弁当を協会の役員の方たちと食べた後、午後2時より主会場にてオープニングセレモニーで始まるサミットイベントに参加。

以下、次の内容でサミットが進行した。

15:15～16:05 記念講演「流れのままに」

講師：片岡鶴太郎（俳優、新上五島町名誉観光物産大使）

椿絵で知られる俳優が笑いを交えての講演

16:15～17:00 事例発表

「椿 TSUBAKI が結ぶ五島との縁」

（株）資生堂グループマネージャー 尾上真由美 氏

「新上五島町と椿」

新上五島町文化財課係長 高橋弘一 氏

17:05～17:25 書道パフォーマンスステージ

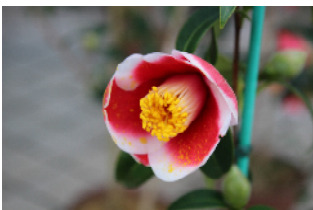
（アカペラユニット XUXU（シュシュ）と上五島高等学校書道部のコラボレーション）

17:30

閉会行事 次回開催地挨拶（静岡県御殿場市）

17:40

会場移動（バス移動、交流会会場の有川総合体育館へ）



（左）石油備蓄記念会館（主会場）

（右）地元愛好家が育てたヤブ椿。お土産にいただく。

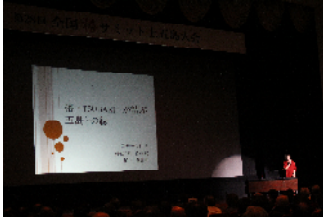
（左）協会主催新花写真コンテスト。

（右）玉之浦は福江。上五島はヤブツバキ。

日本ツバキ協会支部懇談会。質疑で野々市市が国際優秀ツバキ園認定を目指すことが話題に。

（左）開会セレモニー  
羽差太鼓。子供たちの熱演。

（右）上五島高校生徒の書道パフォーマンス。



(左) 事例発表「椿が結ぶ五島との縁」資生堂尾上真由美氏。

(右) 次回開催地静岡県御殿場市の挨拶。

《交流会（夜）》 有川総合体育館



茨城つばきの会からの参加4名。貝沼さんご夫妻

(当会創設以来の夫婦会員)と小泉(2人)。大会当日合流。前後は別行動。



(左) 五島は魚。新鮮でどっさり。マグロ養殖も。

(右) 箱田会長、篠田理事と。理事会でいつもお世話になっております。



(左) 五島うどん美味。あごだし。ファンになる。

(右) シュシュのステージ。今回も上品な歌声。

《旅の思い出：第15回全国椿サミット五島大会（平成17年2月）》



(左) 左から小泉、坂本禎一夫妻、小田慶久会長、木村正博、岡本強(故)塩畑章男の諸氏。(右) 博多から船中泊で福江へ。左から堤理事、桐野先生(故)、小田会長、小泉。

前回の五島サミット(福江島)に茨城の会員6名で参加。桐野秋豊先生もお元気でした。船中泊はエンジン音で眠れず。



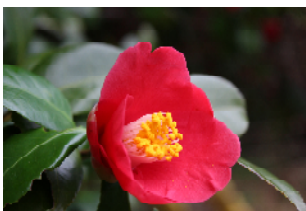
《3日目（大会2日目）：3月4日（日） 現地視察》

現地視察は4コースある中から「椿文化ふれあいコース」に参加。8:30にコース別にバス分乗し出発。以下の各所を巡る。

- ・島内の隠れキリシタンの里と教会
- ・昔ながらの椿油の搾油を見学
- ・都和崎椿公園

終了後、そのままバスで奈良尾港まで行き、昼食の弁当を配布されて解散。

13:15 奈良尾港発 16:05 長崎港着のフェリーに乗船。そのまま長崎市内のドリーミーインにチェックイン。



（左）潜伏キリシタンの里。その後世界遺産登録。

（右）江袋カトリック教会  
五島は信者が多いという。

廃校となった津和崎小学校とヤブツバキ。五島はいたる所ヤブツバキが咲く椿の島。

小学校跡地で椿油の搾油を町民の方が昔の道具で再現。椿の実を煎る→つく。

大会中、町を挙げて協力する姿を随所で拝見。感謝。大釜で煮る。表面に浮いた椿油をすくい取る。何度か繰り返して椿油の純度を上げる。→こす。

（左）貝で作った椿油をすくうひしゃく。

（右）実をつぶすための石臼。各戸に1つあった。



《4日目》



津和崎椿公園。

7 ha の広大なヤブツバキ  
林。島を望む景勝地。

(左) 五島のヤブツバキは  
深紅。黄色の花芯が映え  
る。

(右) 椿園は中通島北端の  
半島の岬にある。

(左) 椿と海と島影。五島  
の魅力ここに極まる。無言  
で佇む参加者多し。

(右) 椿樹林内部

(左) 奈良尾港。

中通島北端の津和崎から  
南端の奈良尾にバス移動。

(右) 九州商船フェリーで  
長崎に2時間半。

長崎ランタン（中国提灯）  
祭。春節のお祝い。メイン  
会場で龍踊見物。夕食は中  
華街へ。

午前中孔子廟見学。長崎は  
日本の中の中国。

12時過ぎの長崎空港発で  
無事帰宅。

ヤブツバキの五島列島新上五島町とたまたま出会ったランタン祭りの長崎の  
3泊4日の旅行は、初めて夫婦で参加したサミットでもあり、いい思い出になり  
そうです。